

元楽只小学校（北区）の空き教室を活用した 制作室（HAPSスタジオ）を使用する若手芸術家の決定

東山 アーティスト・プレースメント・サービス ^{はっぶす}（HAPS）[事務局：一般社団法人HAPS]では、元楽只小学校（北区）を活用した複合施設（愛称：「ふれあい共生館」）において、美術系の若手芸術家に制作スタジオを提供しており、全6室のスタジオのうち5室の使用者を公募していました。

この度、HAPSにおいて審査を行い、スタジオを使用する若手芸術家5組を選定しました。

1 制作スタジオ

スタジオ：普通教室（約65㎡）5室／大型室1室（約88㎡）

所在地：〒603-8226 京都市北区紫野西舟岡町2「ふれあい共生館」北館2、3階

2 使用者

別紙のとおり

3 使用期間

令和6年4月～令和9年3月末

4 お問合せ先

一般社団法人HAPS（担当 沢田）

Eメール：info@haps-kyoto.com

電話番号：075-525-7525

【参考：東山 アーティスト・プレースメント・サービス（HAPS）について】

若いアーティストたちが京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力につなげていくことを目指し、平成23年9月にHAPS実行委員会を設立、31年4月に事務局を法人化。

若手芸術家等からの様々な相談に対応する総合相談窓口の運営、芸術家に適した空き家の紹介、閉校施設等の活用による制作場所の提供、専門家のネットワークによる発表活動の支援等、若手芸術家等が京都のまちなかに居住し、活動し続けることができる環境を整え、彼らの新しい創作の活力を、まちの活力に繋げる取組を行う。

制作室を使用する若手芸術家一覧

(五十音順、敬称略)

氏名	経歴
<p data-bbox="252 360 512 398">おおしまたくろう</p> 	<p data-bbox="639 371 1437 546">サウンドマン。PLAY A DAY をモットーに、日常の道具を改変した楽器の制作と、それらを組み合わせた少し不思議な音楽活動を行う。音楽や楽器の名を借りた遊びやユーモアによって社会をマッサージする。</p> <p data-bbox="639 557 1437 775">音の実験ワークショップ「SOUND やろうぜ」主宰。近作にスケートボードとエレキギターを合体させて街のカタチを演走する「滑琴 (かっきん)」、耳型マイクを身につけた2人の奏者の動きを作曲する「擬似耳人 (ぎじじん)」など。</p>
<p data-bbox="204 831 544 869">澤田華 (さわだ はな)</p>  <p data-bbox="272 1234 472 1272">撮影：竹村晃一</p>	<p data-bbox="639 902 1437 1211">1990 年京都府生まれ。2016 年京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程修了。近年の主な展覧会に、「吹けば風」(豊田市美術館/2023 年)、「見るは触れる 日本の新進作家 vol.19」(東京都写真美術館/2022 年)、「避雷針と顛末」(Gallery PARC / 2022 年)、「夏のオープンラボ：澤田華 360° の迂回」(広島市現代美術館/2020 年)など。</p>
<p data-bbox="252 1323 496 1361">HABURI (ハブリ)</p>  <p data-bbox="220 1738 547 1776">photo by Fabian Hammerl</p>	<p data-bbox="639 1346 1437 1794">1992 年中華人民共和国内モンゴル自治区生まれ。中国の改革開放後期の「ひとりっ子政策」下で育ち、内モンゴルで美術の基礎教育を受けた。2016 年に日本に移住して以降、留学生として東京に5年間滞在。2020 年東京藝術大学美術研究科油画科修士課程修了。2021 年に京都へ移住したことで、自身の文化的アイデンティティを再認識し、現在は工芸や手仕事の実践を通じて、国家の概念や政治教育・歴史・イデオロギーや、少数民族の伝統が個人の感情や思考をどのように形成するのかを探っている。</p>

村上美樹 (むらかみ みき)



1994 年秋田生まれ、京都拠点。京都市立芸術大学大学院修士課程彫刻専攻修了。自分自身や他者の個人的な経験や記憶に焦点を当て、それらの忘却や物の廃棄に対する抵抗と愛着を重要な要素としながら展示空間に構成することで、鑑賞者と相互作用が起こり、体験が拡張される「記憶の場」となるような作品の制作、発表を行う。<https://murakamimiki.com/>

陸瑋妮 (LU WEINI)

+上田佳奈 (うえだ かな)

+六根由里香 (ろっこん ゆりか)

(※写真上から)



陸 瑋妮 (LU WEINI)

1990 年台湾台北出身。台北実践大学建築設計専攻卒業後に来日し、2019 年に京都市立芸術大学院絵画科版画専攻を修了。プリンティングやアートブックなどの制作を行い、コピーとエラーの繰り返しで生まれる新しい風景の平面作品を制作。



上田佳奈 (うえだ かな)

兵庫県生まれ。ロンドン芸術大学 Central Saint Martins でファッション、大阪芸術大学附属大阪美術専門学校で版画を学ぶ。日々の些細な出来事や痕跡を採集し、版画、写真、映像などを用いて「うつし取る」ことで、日常を新たな視点から再解釈する手がかりとなる作品を制作する。



六根由里香 (ろっこん ゆりか)

1995 年大阪府生まれ。2021 年京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程版画領域修了。周囲にあるモノが咄嗟に目の端に飛び込んでくる経験をチャンスイメージと見なし、リトグラフやシルクスクリーンなどの版画技法を用いてイメージの諸相を再提示する作品を制作する。